

プロテインキナーゼ **C η** アイソザイム ヒト、再組換え

Cat. No. NATE-0576

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) から DAG を生成するシグナル伝達経路によって細胞内で活性化されます。フォールボールエステルも PKC を刺激します。少なくとも 11 種類の PKC アイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは 3 つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーは Ca²⁺ およびホスホリピッドを必要とし、PKC α 、 β I、 β II、および γ が含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリピッド依存ですが Ca²⁺ 非依存であり、PKC δ 、 ϵ 、 η 、および θ が含まれます。第三のファミリーのメンバーは DAG またはフォールボールエステルによって活性化されず、PKC ξ 、 μ 、および ι が含まれます。

別名 PRKCH; Ca²⁺活性化リン脂質依存性セリン・スレオニンキナーゼ η アイソザイムヒト; PKC η ヒト; PKCH; EC 2.7.1.37

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染した昆虫細胞
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
EC番号	EC 2.7.1.37
分子量	mol wt 82-84 kDa by SDS-PAGE
純度	> 90% (SDS-PAGE)
緩衝液	20 mM HEPES、pH 7.4、2 mM EDTA、2 mM EGTA、5 mM DTT、250 mM NaCl、0.05% Triton X-100、および 50% グリセロールの溶液。
代謝経路	心筋細胞におけるカルシウム調節、特定の生物系; PIP2加水分解の影響、特定の生物系; エンドセリン、特定の生物系; Gタンパク質シグナル伝達経路、特定の生物系; G α (q) シグナル伝達イベント、特定の生物系; G α (z) シグナル伝達イベント、特定の生物系; GPCR下流シグナル伝達、特定の生物系
機能	ATP結合; 酵素結合; 金属イオン結合; スクレオチド結合; プロテインキナーゼC活性
単位定義	1ユニットは、30°CでpH 7.4の条件下で1分間にPKC ϵ 基質ペプチドに1 nmolのリン酸を転送します。

保管・発送情報

保存方法 -70°C